

【2017 年の提言】

- ・公民館の「専門性」と「越境性」について
- ・地域のつながりや支え合いを創出するコミュニティセンターの在り方について
- ・コミュニティ・スクールにおける学校・家庭・地域との連携・協働の在り方について
- ・これからの社会教育・社会教育行政に求められる視点と役割

SDGs の視点から

学びの越境化・協働化
学びの可視化と活用

【過去の提言】

「地域づくりに生かす社会教育」(2007 年)
「社会教育を推進するための人材の発掘と養成」(2011 年)
「社会性を育む社会教育」(2015 年)

地域住民が地域に関わって
こうとする気持ちを喚起させ
るような仕掛け

前橋市が目指すべき社会教育のモデル

【前橋モデル】

【今回の提言】

「誰一人取り残すことなく、全ての世代の市民が学びと協働を通してつながりあい、地域にその学びを還元することを目指す」

➡ このような【前橋モデル】をさらに磨き上げるために、若者・高校生・公民館について検討を重ねた結果

若者の力を活かす仕掛け

NPO 法人の実践から

- ・ NPO 法人 Design Net-works Association
- ・ NPO 法人 Next Generation

地域寺子屋事業

前橋市高校生学習室

地域課題の解決に向けて活動する意欲と能力を
備えた若者がいることを意識したい。

高校生の学び

学習指導要領の改訂から

- ・ 地域に開かれた教育課程
 - ・ 地域との協働による高等学校教育改革推進事業
- 各学校の実践から
- ・ 前橋市立前橋高校
 - ・ 県立前橋高校

学校教育と社会教育の枠組みを超えた組織づくり
や、支援体制を整備していきたい。

公民館への期待

前橋市公民館運営審議会答申から

- ・ 団体、組織等との連携による事業展開
- ・ 学校との連携
- ・ 学習成果の還元

地域のコーディネーターとしての役割

組織的に学びの実践が行われること、また評価や
学習の証明ができるようにしていきたい。

学びのまじりあい

【リアル】と【バーチャル】 ➡ それぞれの良さがまじわる学びへ

様々なバックグラウンドを持った人たちのまじりあい

SDGs・LGBTQ 等 ➡ 誰ひとり取り残さない、特別な存在を浮き立たせない社会へ